

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の浸透は図られているが、理念を実践に具現化する取組みが十分に行われていない。	ホーム運営及び利用者処遇計画に理念を具現化するための具体策を明示し、職員全員で共有する。	運営目標・処遇計画の策定方法を再検討し、具現化のためにより詳細な具体的方法を明示するよう改訂し、職員で共有・実践を図りたい。	12ヶ月
2	6	開設以来10年、その間拘束をしない介護を実践してきたが、この度、尿道カテーテル抜去・パウチ剥きの予防に「つなぎ服」を夜間のみ使用せざるを得なくなった。	拘束解除。	生命上やむを得ず行う拘束と判断するが、代案による拘束緩和でなく解除の意識を共有させる。常に訴え・状態・対応への動きを観察し、解除に向い頻回にアセスメントを行うことにより、リスク回避と尊厳保持に努めながら早期解除を図りたい。	3ヶ月
3	30	受診の記録を申し送りノートに記載しており、個別記録に記載がされていない。	個別記録に記載するよう改善する。	以前はカードックスを使用し個別に健康記録を行っていたが、職員への申し送りを優先したため現行になったもの。以前の記録方法に戻すが、新たな記録方法を早急に検討したい。	3ヶ月
4	33	看取り期の記録は個別記録として残しているが、看取りに至る支援方針の話し合いの記録が残されていない。	利用者の状態変化に適切な介護が提供できるよう、家族・医療関係者を含めた話し合いや、共有すべき情報を記録とし残す。	職員間の話し合いの記録はユニット会議録に簡単に記録されているのが現状です。家族を含めた話し合いや、医師・訪問看護師の意見も記載できる帳票を策定したい。本問に限らず記録全般について見直しを実施予定	6～12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。